

# 山行報告書

報告書作成

2012年8月29日

山名 [山域]	権現岳	目的と方法	登山
登山期間	2012年8月25日～26日	山行形態	1泊2日テント泊
参加人数	3名		

## 行動記録

【8/25】6:00集合地PKG=6:50豊田東IC=10:10小淵沢IC=10:20観音平11:05-12:00雲海展望-13:00押手川分岐-14:45青年小屋  
15:30-16:10西岳16:25-17:10青年小屋(TS1)

【2日目】5:00起床 6:45 TS1-8:15権現岳8:25-8:45ギボシ8:50-9:45 TS1 10:45-11:10編笠山山頂11:25-14:20不動清水-14:50  
富士見高原登山口-15:00鹿の湯16:00-16:20小淵沢IC=18:00飯田山本IC=(R153)=20:40集合地PKG

## 概念図



## 参考情報

- ・観音平に簡易トイレあり。車が一杯で、林道のかなり下のほうまで路駐あり。
- ・青年小屋の外のトイレはひとつしかない。混む時は小屋の中のトイレを使うとよい。
- ・幕営料@600。
- ・缶ビール(350ml)@500。
- ・カキ氷@500。
- ・鹿の湯@600。
- ・高速(豊田東-小淵沢)

## 日誌

8月25日(土) 天気 快晴

今回は、東京のアルプス灯会(参加者8名)との合同企画である。先方の道路渋滞により予定より1時間遅れの11時に観音平を出発した。気持ちのよい森を順調に登り、編笠山を右から巻いて青年小屋に着いた。リーダーの大チョンボでなんとテントポールを忘れた。灯会のT氏がロープ、細引き、ストック等をたくみに駆使し、何とか寝られる状態に作ってくれた。お見事!!、パチパチ。

テントの設営を終え、灯会のM氏をリーダーに、有志4人で西岳に向かう(当会からはH嬢)。残り7人は早々に宴会に。西岳へは『源治新道』は進む。ゆるいアップダウンがある程度で、テント場との標高差は20mにも満たない。頂上は思いの外広く、道標の周りにはマツムシソウが咲き乱れ、クジャクチョウが花から花へと飛び回っていた(とのこと)。

今回の夕食は複数の食当の持ち寄りで、生野菜サラダ、ゆで卵添え海草サラダ、出汁巻き玉子、ビーフストロガノフ、麻婆茄子、フルーツおよび数々のつまみ…。大変楽しい豪華な野外宴会を過ごせた。そして寝る前には空を見上げ、灯会のO嬢の星空講座。最高の1日であった。

8月26日(日) 天気 快晴

朝5時起床。東には雲海の上に素晴らしい富士山を望むことができた。今日も快晴!。軽装でいよいよ権現を目指す。所々に鎖場があるが、事前に調べたインターネットの写真より難なく超えることができた。これくらいの岩場なら楽しい。権現の頂上は360度の大展望で、富士山、南アルプス、中央アルプス、御嶽、乗鞍、北アルプス、そして八ヶ岳の阿弥陀岳、赤岳、横岳、硫黄岳、蓼科山等々、感激!!。夏も終わりに近いが、ウメバチソウ、タカネナデシコ、ミネウスユキソウ、ミヤマアキノキリンソウ、タカネトリカブト等々、たくさんのお花を見ることができた。

## 感想

私にとって、これまでで最も難しい山なので、行くまではドキドキでしたが、行ってみるととても楽しかったです。天気にも恵まれ、また楽しい人たちと一緒に過ごせ最高でした。ただ、もっと体力を付けて荷物を担げるようにならないといけなさと改めて実感しました。